

～ ガス濃度制御用や濃度管理に！信頼性と耐久性を向上しリニューアル ～

光波干渉式ガスモニター「FI-900 型」発売

理研計器株式会社(本社:東京都板橋区)は、光波干渉式ガスモニター FI-900 型を開発いたしました。

FI-900 型は当社独自の光波干渉式センサを搭載した光波干渉式ガスモニターFI-800 型の後継機種として、MODBUS 通信機能搭載や自己診断機能を強化し、より制御用として扱いやすく信頼性を向上しております。

また、国内防爆はもとより、海外防爆(ATEX/IECEX)検定を取得しており、海外市場でも幅広くご使用いただくことが可能になりました。

【新製品の特長】

1. 信頼と実績の光波干渉式センサ

弊社創立以来 80 年の実績のある検知原理:光波干渉式のセンサを搭載。
長期安定かつ長寿命で、あらゆるガスを測定することが出来ます。

2. 自己診断機能を強化し、MODBUS 通信でステータスを確認可能

センサや機器の異常なステータスを細部に渡って診断・識別可能。
MODBUS 通信でガス濃度やガス濃度警報だけでなく、各種ステータス情報が取得可能となり、より信頼性が向上しております。

3. NH₃、VCM ガス等の腐食性ガスにも対応可能

従来機:FI-800 型では対応できなかった腐食性ガスにも SUS 仕様にて
対応可能なため、インライン測定が可能なガス種が大幅に拡大しました。



【主な用途】

VOC 濃度管理、水素の純度測定、プロセスガス濃度制御、可燃性ガスの爆発防止

【定価】

製品単体価格:100 万円(標準) 120 万円(SUS 仕様)

※ 別途お客様の測定環境・条件に応じたサンプリング装置が必要になります。

【販売開始】 2020 年 2 月 10 日

【出荷開始予定】 2020 年 4 月 1 日

＜本件に関するお問い合わせ先＞

理研計器株式会社 営業技術部

e-mail: ei_gi-info@rikenkeiki.co.jp

TEL:03-3966-1117 (平日 9:00～17:00)